

# 環境経営レポート

2023年4月～2024年3月

2024/8/31 作成



エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号 0004069

神奈川スバル株式会社

## 目 次

1. 会社概要	…	P.2
2. 環境経営方針	…	P.5
3. 環境経営目標	…	P.6
4. 環境経営計画及び取組	…	P.7
5. 環境活動の取組結果と評価及び次年度の環境経営計画	…	P.8
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	…	P.9
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	…	P.10

## 【1】会社概要（2024年3月31日現在）

### （1）事業所名

神奈川県横浜市港北区新横浜1-18-1

### （2）所在地

神奈川県横浜市港北区新横浜1-18-1

### （3）代表者氏名

代表取締役社長 鈴木 泰介

### （4）環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者	取締役 管理本部長	小久保 和信
E A推進事務局	サステナビリティ推進室	和栗 正典
連絡先	電話 045-478-3611	FAX 045-478-3648
Eメールアドレス	<a href="mailto:m-waguri@kanagawa-subaru.co.jp">m-waguri@kanagawa-subaru.co.jp</a>	

### （5）事業の内容

1. 自動車の販売 2. 中古自動車の売買 3. 自動車部品・用品の販売  
および修理 4. 自動車の修理 5. 保険代理業

### （6）事業の規模

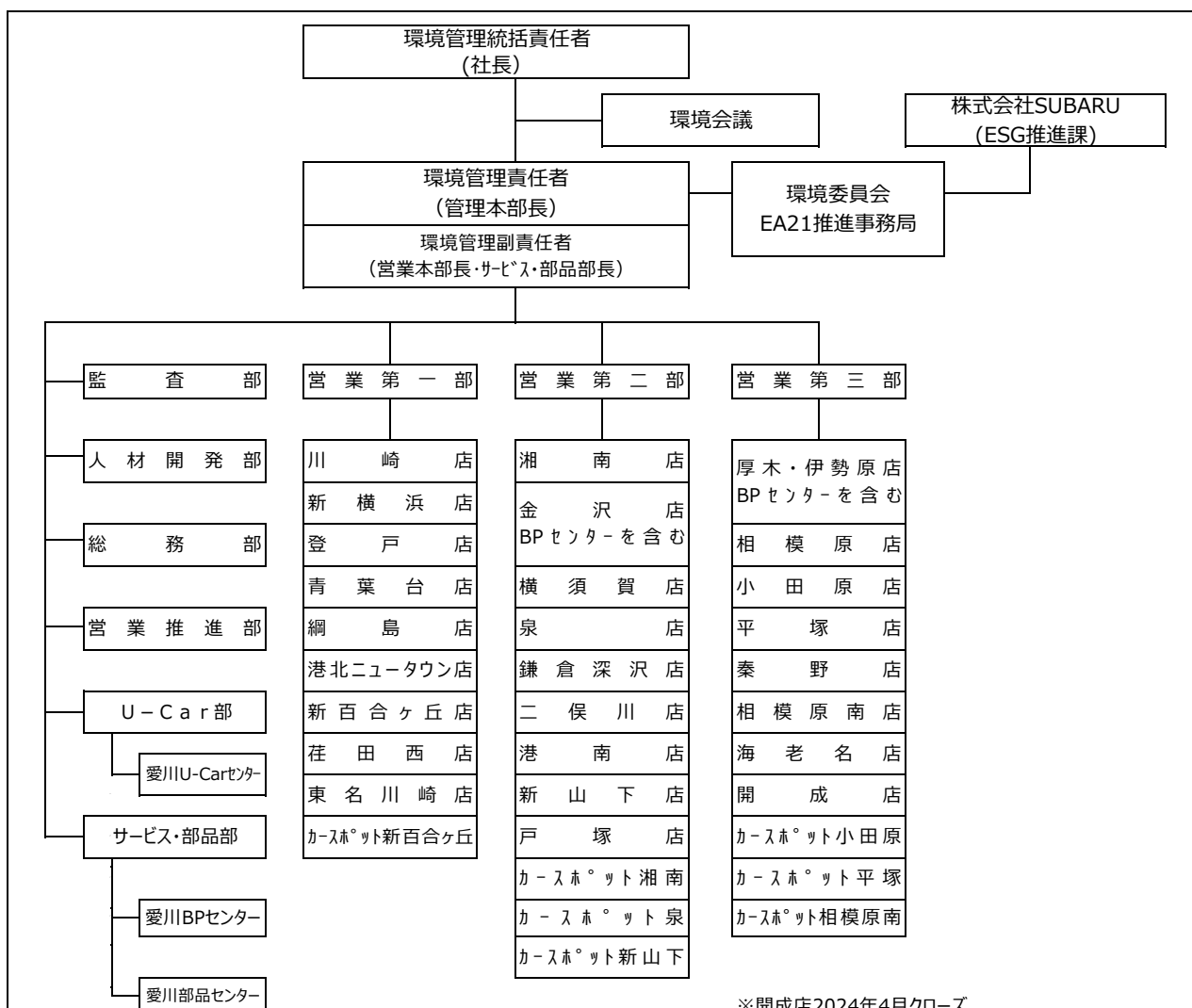
・売上高	30,972百万円（2023年度）
・新車販売台数	5,951台（2023年度）
・中古車販売台数	4,456台（2023年度）
・従業員数（派遣・パート等含む）	694人（2024/3/31現在）
・店舗数	スバル新車26 U-Car7 BPセンター3 部品センター1

### （7）対象範囲（認証・登録範囲）

当社は、全組織・全活動を対象として、エコアクション2.1に取り組み、環境経営システムを構築、運用維持します。



(8) EA21推進組織図 (2024年3月31日現在)



※開成店2024年4月クローズ  
 ※秦野店2024年4月移転オープン

組織構成	役割、責任及び権限
環境管理統括責任者 (社長)	・環境マネジメントシステム (EMS) 執行の最高責任者
環境管理責任者 (管理本部長)	・本業の業務とは関わりなく、EMSを確立・実施・維持する責任と権限を有する
環境管理副責任者 (営業本部長) (サービス・部品部長)	・上記環境管理責任者の業務を補佐する
EA21推進事務局 (委員長: サステナビリティ推進室長)(経理課、施設課、U-Car企画課、技術課、監査部より選任)	・環境管理責任者を補佐し、EMSの確立・実施・維持全般に関する事務局業務を行う ・監査部による、年1回の全店舗内部監査実施
環境会議	・主催者: 社長 ・構成員: 社長、営業本部長、管理本部長、サービス部品部長、EA21推進事務局
部門長・拠点推進責任者	・各部門長 (担当する部長) は、組織図の担当部門内の統括責任者
一般従業員	・環境活動の重要性を自覚し、必要な環境教育訓練を受け、環境方針・環境目標・環境活動実施計画書に基づいて、日常の環境活動に取り組む

# (9) 店舗・センター一覧

2024/3/31現在

	店舗・事業所名	住 所	電話番号	ファックス番号	組織区分
	本 社	〒222-8571 横浜市港北区新横浜1-18-1	045-478-3611	045-478-3648	A
営業 第 一 部	川 崎 店	〒212-0026 川崎市幸区紺屋町42-3	044-522-6211	044-522-6213	C
	新 横 浜 店	〒222-8571 横浜市港北区新横浜1-18-1	045-478-3630	045-478-3641	C
	登 戸 店	〒214-0023 川崎市多摩区長尾1-18-9	044-933-5211	044-933-5368	C
	青 葉 台 店	〒227-0062 横浜市青葉区青葉台1-6-2	045-983-2231	045-983-2165	C
	綱 島 店	〒230-0071 横浜市鶴見区駒岡2-6-45	045-573-2221	045-573-2667	C
	港 北 コ ー タ ウ ン 店	〒224-0006 横浜市都筑区荏田東2-1-84	045-943-4711	045-943-5888	C
	新 百 合 ケ 丘 店	〒215-0023 川崎市麻生区片平1-4-20	044-988-2422	044-988-2416	C
	荏 田 西 店	〒225-0014 横浜市青葉区荏田西5-18-2	045-911-2355	045-911-2377	C
営業 第 二 部	東 名 川 崎 店	〒216-0005 川崎市宮前区土橋2-12-8	045-911-2355	044-855-8415	C
	湘 南 店	〒253-0012 茅ヶ崎市小和田3-18-20	0467-52-2516	0467-53-0071	C
	金 沢 店	〒236-0003 横浜市金沢区幸浦2-3-1	045-790-5541	045-790-5561	C
	横 須 賀 店	〒239-0835 横須賀市佐原1-10-4	046-835-0267	046-835-0269	C
	泉 店	〒245-0016 横浜市泉区和泉町3191-15	045-802-6111	045-802-6188	C
	鎌 倉 深 沢 店	〒248-0027 鎌倉市笛田3-1-33	0467-32-8500	0467-32-7749	C
	二 俣 川 店	〒241-0024 横浜市旭区本村町44-3	045-367-0400	045-367-0411	C
	港 南 店	〒234-0053 横浜市港南区日野中央1-1-6	045-847-2221	045-847-2227	C
営業 第 三 部	新 山 下 店	〒231-0801 横浜市中区新山下2-10-7	045-628-2411	045-628-2418	C
	戸 塚 店	〒244-0812 横浜市戸塚区柏尾町150-7	045-822-1800	045-822-1822	C
	厚 木 ・ 伊 勢 原 店	〒259-1114 伊勢原市高森1 5 9 3 - 1	0463-93-7761	0463-93-7762	C
	相 模 原 店	〒252-0331 相模原市南区大野台1-3-8	042-753-2001	042-753-2695	C
	小 田 原 店	〒250-0002 小田原市寿町1-16-17	0465-34-3156	0465-34-3159	C
	平 塚 店	〒254-0013 平塚市田村5 - 4 - 2 8	0463-55-1411	0463-55-1414	C
	秦 野 店	〒257-0031 秦野市曾屋5786-2	0463-81-6994	0463-81-6995	C
	相 模 原 南 店	〒228-0814 相模原市南区麻溝台8-11-14	042-743-5110	042-743-5133	C
U i c a r 部	海 老 名 店	〒243-0422 海老名市中新田540-1	046-234-2611	046-234-2917	C
	開 成 店	〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島578	0465-82-5600	0465-82-0303	C
	カースホット平塚	〒254-0013 平塚市田村2-7-40	0463-55-1311	0463-55-1385	B
	カースホット湘南	〒253-0012 茅ヶ崎市小和田3-18-20	0467-53-1320	0467-53-0075	B
	カースホット相模原南	〒228-0828 相模原市南区麻溝台8-12-25	042-745-2441	042-701-9551	B
	カースホット泉	〒245-0016 横浜市泉区和泉町3191-15	045-802-7222	045-802-7401	B
	カースホット小田原	〒250-0002 小田原市寿町1-17-18	0465-66-5533	0465-66-5534	B
	カースホット新山下	〒231-0801 横浜市中区新山下2-10-7	045-622-0121	045-622-0344	B
サ ー ビ ス ・ 部 品 部	カースホット新百合ヶ丘	〒215-0023 川崎市麻生区片平1-4-20	044-988-9779	044-988-0406	B
	愛川 U-Car センター	〒243-0303 愛甲郡愛川町中津2536-1	046-281-7270	046-286-6464	B
	金 沢 B P センター	〒236-0003 横浜市金沢区幸浦2-3-1	045-790-5567	045-790-5568	D
	厚木・伊勢原 B P センター	〒259-1114 伊勢原市高森1 5 9 3 - 1	0463-93-7738	0463-93-7762	D
	愛川 B P センター	〒243-0303 愛甲郡愛川町中津2536-1	046-284-5311	046-286-6355	D
	愛川 部品 センター	〒243-0303 愛甲郡愛川町中津2536-1	046-280-4491	046-280-4492	E

※組織区分

- A : オフィス業務
- B : オフィス業務 + 販売
- C : オフィス業務 + 販売 + 整備
- D : オフィス業務 + 板金塗装
- E : オフィス業務 + 部品販売

## 【2】環境経営方針（2024年3月31日現在）

### 《基本理念》

神奈川スバル株式会社は、事業活動が地域および次世代の環境に及ぼす影響を常に考え、事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー（CO<sub>2</sub>削減を含む）、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行い、あわせて環境汚染を未然に防止すると共に、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に改善できるように推進します。

これらの活動を通して、住み良い地域環境と、地球環境の実現のため、経営のあらゆる面で環境に配慮して行動します。

### 《基本方針》

この理念のもと、当社が行なう自動車および部品の販売、整備、修理、保険業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 次の環境保全の重要項目に対して、環境目標を設定し取り組み、必要があれば見直しを行ないます。
  - ①省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量）
  - ②省資源（水使用量、紙使用量）
  - ③廃棄物の排出抑制と適正処理（一般廃棄物及び産業廃棄物排出量削減）
  - ④化学物質管理の強化（P R T R法関連、V O C対策）
  - ⑤エコカーの積極的な販売推進
  - ⑥顧客車両の整備徹底による環境影響の低減
  - ⑦グリーン購入の推進
  - ⑧拠点周辺の清掃を積極的に行ない、地域の環境改善に貢献する
2. 適用する環境関連の法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
3. この環境方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

2020年4月1日  
神奈川スバル株式会社  
代表取締役社長 鈴木 泰介

## 【3】環境経営目標

当社は、環境への負荷が大きいと考えられる《エネルギー使用量》《廃棄物の排出量》の把握をし、削減活動に重点をおく。同時に、リサイクルの推進を積極的に行う。

### (1) 2022年(基準年度)

項目	単位	2022年 (基準年度)	
二酸化炭素排出量(総量)	kg-CO2	1,206,592	
電気使用量	kWh	3,601,582	
燃料	ガソリン	L	335,613
	灯油	L	0
	軽油	L	53,004
	L P G	kg	43,421
	都市ガス	m3	9,623
水使用量	m3	26,352	
コピー用紙	枚	6,962,750	
一般廃棄物	t	171.1	
産業廃棄物	t	281.3	
化学物質の管理	-	-	
エコカー販売の推進	%	30.0%	
顧客車両の整備徹底	-	-	
社会貢献環境保全活動	-	-	

### CO2排出係数

【電気】0.376kg-CO2/Kwh (東京電力エナジーパートナー)  
0 kg-CO2/Kwh (出光でんきプレミアムグリーンプラス)  
【ガソリン】2.29kg-CO2/L  
【灯油】2.49kg-CO2/L  
【軽油】2.62kg-CO2/L  
【L P G】2.99kg-CO2/kg  
【都市ガス】2.05kg-CO2/m<sup>3</sup>



・基準年度及び目標数値は2021年度の「東京電力エナジーパートナー」の値(0.451)及び「出光でんきプレミアムグリーンプラス」の値(0.0)を使用して算出しています。

### (2) 中期環境経営目標(全社)

項目	単位	2022年 (基準年度)	削減目標	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標	
二酸化炭素排出量(総量)	kg-CO2	1,206,592	目標以下	1,210,000	1,210,000	1,210,000	
電気使用量	kWh	3,601,582	目標以下	3,610,000	3,610,000	3,610,000	
燃料	ガソリン	L	335,613	目標以下	336,000	336,000	336,000
	灯油	L	0	目標以下	0	0	0
	軽油	L	53,004	目標以下	53,000	53,000	53,000
	L P G	kg	43,421	目標以下	44,000	44,000	44,000
	都市ガス	m3	9,623	目標以下	9,700	9,700	9,700
水使用量	m3	26,352	目標以下	27,000	27,000	27,000	
コピー用紙の削減	枚	6,962,750	目標以下	6,970,000	6,970,000	6,970,000	
一般廃棄物	t	171.1	目標以下	175.0	175.0	175.0	
産業廃棄物	t	281.3	目標以下	290.0	290.0	290.0	
化学物質の管理	-	-	-	継続実施	継続実施	継続実施	
エコカー販売の推進	-	30.0%	-	30.0%	30.0%	30.0%	
顧客車両の整備徹底	-	-	-	継続実施	継続実施	継続実施	
社会貢献環境保全活動	-	-	-	継続実施	継続実施	継続実施	

※CO2排出係数について

・本社及び店舗の電気は、「CO2排出量ゼロ」の「再生可能エネルギー100%電力」の供給を受けています。

※化学物質の管理について

- ・VOC規制にかかる塗料は、引き続き二石の使用を実施
- ・シンナーは、使用時以外は密閉容器での保管を実施

※エコカー販売の推進について

・販売車種中のe-BOXER(ハイブリッド車)及びソルテラ(電気自動車)の販売比率を目標とします。

※2023年度より目標値を変更しました。(基準年度を2022年相当としました。)

## 【4】環境経営計画及び取組

### (1) 数値目標を達成するための取組と実施体制

No.	項目	具体的取組	実施体制	
			主管部署	実施部署
①	二酸化炭素排出の削減	・電気・燃料の使用削減の推進	総務部	全店舗 全部署
②	電気使用量削減	・節電への取組強化（昼休み、未使用時の消灯） ・ショールーム消灯時間の徹底（原則18時00分とする） ・冷暖房の室温管理（事務所：夏季28℃ 冬季20℃の定温管理） ・通年ノーネクタイ勤務の推奨 ・新店舗へのLED照明器具の導入、照明機器更新の際のLED化	総務部	全店舗 全部署
③	燃料使用量削減	・効率的な車の使用により、ガソリンを削減する ・アイドリングストップの推進 ・エコ運転の推進（エコドライブ10のすすめ）の励行 ・社有車・営業車のエコカーへの代替え	総務部	全店舗 全部署
④	水道水の使用量削減	・オフィスでの節水活動推進 ・洗車時の節水	総務部 サービス・部品部	全店舗 全部署
⑤	紙（コピー用紙）の使用削減	・電子文書の使用拡大 ・コピー削減	総務部	全店舗 全部署
⑥	一般廃棄物の削減	・分別再資源化の強化 ・ペットボトルキャップ収集に伴う分別の強化	総務部	全店舗 全部署
⑦	産業廃棄物の削減	・マニフェストの完全運用 ・分別再資源化の強化	サービス・部品部 U-Car部	整備実施店舗 BPセンター 部品センター U-Carセンター

### (2) その他の取組

No.	項目	具体的取組	実施体制	
			主管部署	実施部署
①	エコカー販売の推進	・e-Boxer（ハイブリッド車）及び電気自動車の販売推進	営業本部	新車店舗
②	顧客車両の整備徹底	・法定点検、一般整備の入庫促進 ・排ガス・騒音等の法令・規制に適合する状態の維持	サービス・部品部	整備実施店舗
③	カラートナーの使用削減	・カラーコピーの原則禁止	総務部	全店舗 全部署
④	廃自動車部品のリサイクルの遵守	・バンパー、その他金属部品のリサイクル促進	サービス・部品部	整備実施店舗
⑤	環境関連法の遵守 （社員・関係者への教育）	・各法令遵守に向けた社内（および取引先等の関係者）教育 ・内部監査実施	総務部 監査部	全店舗 全部署
⑥	化学物質管理の強化	・塗料等の化学物質の適正な管理 ・法令遵守に向けた教育、監査の実施	サービス・部品部	BPセンター
⑦	店舗等での社会貢献と環境保全活動の推進	・警察と連携した地域交通安全活動への参加（交対協など） ・事業所周辺の清掃活動 ・店舗での職場体験の受け入れ 地域密着型拠点実現のため地域社会への環境活動を進める 地域町内会・自治会との協力等	総務部	全店舗





# 【5】環境活動の取組結果と評価及び次年度の環境経営計画

## (1) 実績

項目	単位	基準値	2023年度目標値		2023年度 実績と評価			
		2022年 (基準年度)	削減目標 (対基準年度)	年間目標	実績	費用 (使用料金等)	削減状況 及び判定	
二酸化炭素排出量(総量)	kg-CO2	1,206,592	基準年以下	1,210,000	1,122,278		-7.2% ○	
電気使用量	kWh	3,601,582	基準年以下	3,610,000	3,921,041	112,436,139	8.6% ○	
燃料	ガソリン	L	335,613	基準年以下	336,000	340,139	52,951,003	1.2% ○
	灯油	L	0		0	0	-	-
	軽油	L	53,004		53,000	54,436	5,587,903	2.7% ○
	LPG	kg	43,421		44,000	19,348	7,115,602	-56.0% ◎
	都市ガス	m3	9,623		9,700	10,646	1,531,649	9.8% ○
水使用量	m3	26,352	基準年以下	27,000	25,805	12,067,712	-4.4% ○	
コピー用紙	枚	6,962,750	基準年以下	6,970,000	6,325,000	4,163,001	-9.3% ○	
一般廃棄物	t	171.1	基準年以下	175.0	141.5	7,745,787	-19.1% ◎	
産業廃棄物	t	281.3	基準年以下	290.0	289.6	20,360,615	-0.1% ○	
化学物質の管理	-	-	-	-	-	-	-	
エコカー販売の推進	-	30.0%	-	30.0%	38%	-	達成	
顧客車両の整備徹底	-	-	-	-	-	-	-	
社会貢献環境保全活動	-	-	-	-	-	-	-	

判定記号：◎目標値10%以上削減 ○目標値+/-10%未満 ×目標値10%以上増加

※液化石油ガス(LPG)の使用量を気体(m3)で把握しているため「1m3=2.05kg」として換算

※コピー用紙の枚数はA4換算の購入枚数で集計しています。

※電気使用量のCO2排出係数について基準年度及び目標年度は2019年度の東京電力エナジーパートナーの値(0.468)を使用して算出し、

実績数値は2021年度の東京電力エナジーパートナーの値(0.376)及び出光でんきの値(0.000)を使用して算出しています。

※化学物質の管理についてVOC規制にかかる塗料は、使用量及び使用する塗料の種類について管理します。またシンナーは、使用時以外は密閉容器での保管を実施しています。

## (2) 数値目標の達成と資源を抑制するための取組結果と評価及び次年度の環境経営計画

- ① 基準年度の見直しに関わらず、二酸化炭素排出量は業務用電力のCO2フリー電気の切り替え推進により目標に対して▲7.2%となった。  
※次年度の計画⇒事業活動に必要な資源を有効に使用しながら、無駄のない業務を推進する。
- ② 電気使用量削減  
・職場環境改善を目的とした、整備工場用の冷房暖房設備を導入かつ、シートシャッターを順次導入し、照明をLED更新等や、各職場が未使用の電源OFFや室温管理の徹底を呼び掛けたが、基準値の見直しもあり、使用量が目標比8.6%増となった。  
※次年度の計画⇒従業員の更なる意識向上を推進することかつ、店舗照明のLED更新や、専用機器による空調最適化の導入を進める。
- ③ 燃料使用量削減  
・ガソリンは、訪問活動の効率化推進、社用車の低燃費車両化促進したが、アフターコロナの移動増により、1.2%増となった。  
・軽油は、物流内製化かつ効率を考えた運行をしたが、U-Carの販売増(基準年度比120%)により、2.7%増となった。  
・LPGは、建て替え店舗のオール電化かつ、整備工場のカンテナ暖房設備を、電気冷暖房設備への見直しにより、▲56%となった。  
・都市ガスは、B Pセンターの作業車両入庫増(基準年度比105%)により、9.8%増となった。  
※次年度の計画⇒ガソリンについて、「アイドリフトストップ及び「エコドライブ10のすすめ」を推進し、業務効率化を考えた燃料の使用を推進する
- ④ 水道水の使用量削減  
・節水型洗濯機導入とツナギ服洗濯の外注化や、店舗での節水取り組みにより▲4.4%となった。  
※次年度の計画⇒オフィスでの節水活動と、洗車時はシャワーヘッド活用による節水を推進する。
- ⑤ 紙(コピー用紙)の使用削減  
・電子申請や社内会議のペーパーレスの推進により▲9.3%となった。  
※次年度の計画⇒電子申請システムで申請できる書類を拡充し、社内会議等を含め、更なるペーパーレス化を推進する。
- ⑥ 一般廃棄物については、電子申請や社内会議のペーパーレスの取組みや店舗での分別強化などにより▲19.1%となった。  
※次年度の計画⇒3Rを意識し、可燃ごみ・不燃ごみ及びシュレッダーくずの分別強化を推進する。
- ⑦ 産業廃棄物については、整備入庫台数減(基準年度比96%)だったが、▲0.1%減にとどまった。  
※次年度の計画⇒電子マニフェストの運用かつ、廃自動車部品(バンパー等)のリサイクル促進、分別再資源化の強化を推進する。

## (3) その他の取組結果と評価及び次年度の環境経営計画

- ① エコカー販売の推進について、e-Boxer及び電気自動車の販売を推進し、販売比率が38.0%となった。  
※次年度の計画⇒SUBARUらしい環境にやさしいエコカーを1人でも多くのお客様に提案することを推進する。
- ② カラートナーの使用量について、社内文書のカラーコピー禁止など、次年度も継続して使用削減の徹底を図る。
- ③ 環境関連法の順守にむけ、社員および関係者へさらに理解を深める。
- ④ 化学物質管理は、適切な管理を継続して推進する。  
(現在は第一種指定化学物質の含有が少ない溶剤を使用して届出対象外となっており、さらに2019年度から水性塗料を導入しており、法令上の届出対象はない。)
- ⑤ 店舗での社会貢献環境保全活動の推進  
・地域のお客様への身近なリスクや家庭で出来る防災・減災について楽しく気軽に学んでいただくことを目的としたセミナーを開催した。  
・事業所周辺の清掃活動など、日常活動の中での清掃活動を実施した。  
※次年度の計画⇒昨年度までの防災セミナーや、地域清掃活動の取り組みを継続するとともに、  
地域高齢者向けにスバル車の安全性能の体験会の実施や、ペットボトルキャップ運動を推進する。

## 【6】環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 適用となる環境関連法規

主な適用法規	要求事項	遵守状況
水質汚濁防止法	特定施設設置の届出（自動車自動洗浄装置等）	○
下水道法	排水施設の設置義務 特定施設の届出	○
廃棄物処理法	マニフェスト集計・報告 収集運搬・処分業者との契約	○
消防法	少量危険物貯蔵届出	○
騒音規制法	特定施設の届出（コンプレッサ定格出力7.5Kw以上）	○
振動規制法	特定施設の届出（コンプレッサ定格出力7.5Kw以上）	○
化管法（P R T R法）	排出量・移動量の把握と届出	○
自動車リサイクル法	引取業届出 使用済自動車の適正処理	○
NOx・PM法	適合車両の使用	○
家電リサイクル法	対象機器の廃棄の際、適切な引渡し及びリサイクル料金の支払い	○
省エネルギー法 ※	定期報告書、中長期計画書の提出（エネルギー使用量1500kl/年以上）	○
建設リサイクル法	適正な分別解体と再資源化、知事への届出	○
フロン排出抑制法	定期点検・簡易点検の実施と記録の作成・保管、漏えい量の報告	○
プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律	事業者は、プラスチック使用製品廃棄物の排出を抑制すること	○
神奈川県生活環境の保全等に関する条例	自動車を使用する事業者は、業務用の自動車の運転者にアイドリング・ストップを遵守させるよう、適切な措置を講じなければならない。	○

※省エネルギー法については2012年に特定事業者取消を届出済みです。

（神奈川スバル全体の合計値で換算。2023年度実績として1,256kl/年）

### (2) 違反、訴訟等

当社における環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 【7】代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は、2023年4月に、サステナビリティ推進室を新設しました。当社の理念・方針にもある通り、地域と共存し、社員の自主的、自発的な環境へのサステナブルな取り組みを、自主性を尊重して自分たちで取り組んでいけるように設置しました。活動方針として掲げている【「想い」の重点6領域】の「社員・家族への想い」「愛されるお店への想い」「地域へつなげていく想い」「いのちを守る想い」「日々の業務から伝える想い」「次世代へ伝えていく想い」を軸に、様々な視点や場所で活動を広げています。

2023年は、例年のない異常気象や長引く感染症対策などにより、一年を通じて体調管理の面で大変苦労したとともに、自動車業界における不祥事が相次ぎ、お客様、取引先様、地域社会の皆様、従業員の皆様には、業界全体への不安やご心配をおかけしました。自動車業界としての信頼回復に努める中で、当社でもこれまで以上に、※「ESG」の取り組みを強化することで、環境・社会・ガバナンスへの意識醸成と持続的な活動を推進していきます。※「ESG」:環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を組合わせた言葉

カーボンニュートラルにおいては、本社及び全店舗へのCO2フリー電力を導入し、CO2排出量の削減のほか、スバルらしいハイブリッド車の推進をしてきました。また、戸塚店は移転新設を行い、環境への配慮や従業員の働きやすさも考慮した設計とし、持続的に地域に根付く店舗として新たに稼働をはじめています。今後も、秦野店の移転新設計画や、老朽店舗のリニューアルを実施し、環境に優しい店づくりをおこなっていきます。

現在、スバルチームで「2025ビジョン」として、お客様、スタッフの双方から『愛されるSUBARUになる』ことを目指している中、環境活動もその取組の一環であり、5Sの推進や環境関連法令遵守、社会貢献活動、「2030年までに死亡交通事故ゼロ」が、直接お客様に関わる取り組みであることを社内に周知していくことが重要です。

私たちにとっての2024年度は、自分たちの「存在価値」をさらに高め、「個と仲間とお客様」を大切にしながら、「会社・職場・自分自身」に「自信と誇り」を持って仕事に向き合うことが出来る「豊かな人材」が、一人でも多く育てていくことを目指しています。2024年度は、その「歩み」をさらに加速させ、「成長と豊かさ」を感じることで、今までよりもさらに大きな「改革」に果敢にチャレンジしていきたいと思えます。

従業員全員が、スバルチームで進めている「ひとつのいのちプロジェクト」を軸に、「ひと」、「自然」のいのちを守ることが、環境への取り組みへ繋がることを意識し、日常業務の中で自然と実行できるようにしていくことが重要であるため、サステナビリティ推進室、環境委員会が中心となり、新たな活動を推し進めています。



25<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY  
Since 1999

ツナガル  ヒロガル  
KANAGAWA SUBARU